

2月13日(金) 13:00~18:00

場所：京都大学大学院理学研究科 6号館南棟 4階  
6-401室 (第1部はzoom配信あり)

参加登録 <https://forms.gle/NSynPePjPrpEGoxUA>

対面参加・zoom参加ともに事前の登録が必要です。  
登録されたメールアドレスに  
zoomのID・パスワードを送付いたします。



#### プログラム

#### 第1部 理研 iTHEMS 一京大理学共同研究成果報告会 (zoom 配信有り)

- 13:00 開会の挨拶 (坂上貴之 京都大学 SACRA 学際融合部門長)
- 13:05-13:15 理事挨拶  
平島崇男 京都大学理事  
小安重夫 理化学研究所理事
- 13:20-13:30 理研共同研究契約の活動概要 (初田哲男 理研 iTHEMS ディレクター)
- 13:35-13:55 京大 学際融合部門での活動概要 (坂上貴之 SACRA 学際融合部門長)
- 14:10-15:00 MACS 理研スタディグループ 成果発表会 (学生7名)
- 15:10-16:00 MACS 理研スタディグループ 成果発表会 (学生7名)
- 16:00 第1部 閉会の挨拶 (國府寛司 京都大学理学研究科長)

#### 休憩

#### 第2部 2022年度 MACS スタディグループ成果報告会

- 16:20-16:40 各スタディグループ フラッシュトーク
- 16:40-18:00 参加学生によるポスター発表
- 18:00 クロージング

#### 備考

- ◎本成果報告会は理学部・理学研究科の学生・教職員が対象ですが、京都大学・理化学研究所に在籍されている方はどなたでもご参加いただけます。
- ◎学内教育プログラムに関するイベントであるため、学外・一般の方の登録は原則不可としております。ご登録いただきましてもリストより削除させていただきます。
- ◎問い合わせ先  
macs \* sci.kyoto-u.ac.jp (\*を@に変更してください)

理化学研究所 iTHEMS と京都大学理学研究科 SACRA 学際融合部門は 2018 年度から開始された課題「数理を基盤とした分野横断的手法による、理学における新分野の創出と諸問題の解決」で共同研究契約を締結し、この5年にわたり両機関の連携強化を図ってきました。その間、研究シンポジウムの開催、大学間を横断する連携講義の実施、客員講座の設置、MACS スタディグループでの教育活動など、研究・教育の双方で様々な連携活動を行い成果を得ました。本成果報告会ではこの五年間の共同研究の成果を紹介し、今後のさらなる連携に向けたスタートに繋げていきたいと考えています。特に MACS スタディグループ 2022-SG5 「理化学研究所と MACS を繋ぐパイプライン」では、多くの学部生・大学院生が参加し、理研研究者との研究活動が活発に行われてきました。今回の成果発表会ではこの SG5 の活動成果を学生の皆さんから紹介していただく予定です。

#### MACS (Mathematics-based Creation of Science) 教育プログラム

数理を基盤として理学5分野を横断する融合研究を推進し、狙ってもできない新たな学問分野の自発的創出を促すとともに、分野横断的課題の発見と解決に学際的な視点から取り組む教育プログラム。京都大学の学生・教員であれば学部1回生から博士3回生まで誰でも参加可能な教育プログラムです。  
<https://www.sci.kyoto-u.ac.jp/ja/academics/programs/macs>

**生物群集の安定性を説明する理論の探求**

$\zeta(s) = \sum_{n=1}^{\infty} n^{-s}$